

**IBM ThinkPad 560Z**  
セットアップ・ガイド



IBM

**IBM ThinkPad 560Z**  
セットアップ・ガイド

---

— ご注意 —

本書をお読みになり、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず51ページの『特記事項』をお読みください。

**第 1 版 (1998 年 8 月)**

原 典	27L2615 IBM ThinkPad 560Z Setup Guide
発 行	日本アイ・ビー・エム株式会社
担 当	ナショナル・ランゲージ・サポート

## 電波障害自主規制 届出装置の記述

この装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

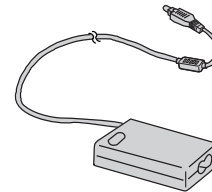
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

## AC アダプターについて

ThinkPad の AC アダプターは、日本国内での使用を前提として、次の規格に適合しています。

- 定格：
  - 入力: AC 100V 50/60Hz
  - 出力: DC 16V
- 型式認可番号：
  - 第 91 - 56011 号 または
  - 第 91 - 56055 号





## 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、本製品を安全に正しくご使用いただくための安全表示が記述されています。この取扱説明書を保管して、必要に応じて参照してください。

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への安全表示については、製品を正しくご使用いただいて、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### 危険/注意ラベルの表示について

この製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全上に関しての、危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

この取扱説明書に記述されている内容以外に、危険または注意ラベルによる表示がある場合は（たとえば製品上）、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

### 危険

- 本製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本製品は、付属の電源コード以外は使用しないでください。付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。

- 
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
  - 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電のおそれがあります。
  - コンピューターの構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続、テレビのアンテナ線接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
  - 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜き、バッテリー・パックを取り外して、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
  - 万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜き、バッテリー・パックを取り外して、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
  - 電池について

本製品には、次の 2 種類の電池が使用されています。

- バッテリー・パック（本体の主電源用で着脱可能）
- リチウム電池

バッテリー・パック以外の電池は専門の担当者によってのみ交換されます。電池の交換については、お買い求めの販売店または IBM サービス・センターまでお問い合わせください。

電池の取り扱いを誤ると、発熱、発火、破裂のおそれがあります。

電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、幼児が電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

次の行為は絶対にしないでください。

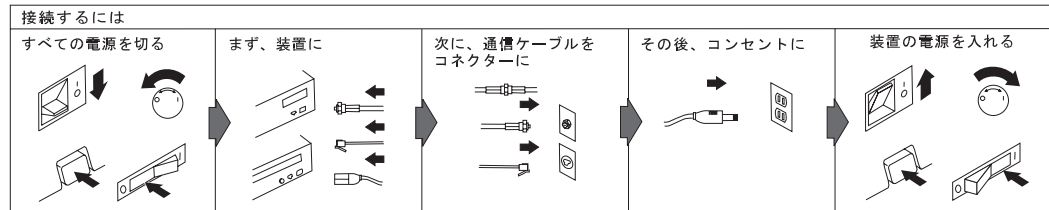
- 水にぬらすこと
- 100 以上の過熱や焼却
- 分解や、本体や専用の機器以外による充電

電池は、地方自治体の条例または規則に従って破棄してください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

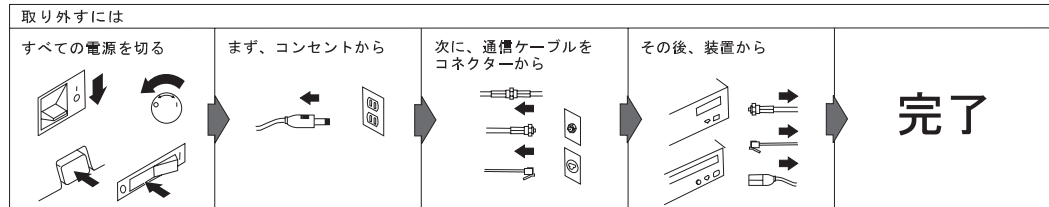
- 充電式バッテリー・パックを分解、焼却、ショートさせないでください。
- 外付けモニターのカバーは開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。

## ⚠危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序  
電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。感電を防止するために、コンピューターまたは接続装置を設置または移動するとき、またはカバーを開ける際には、下記の手順でケーブルの接続および取り外しを行ってください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続をしないでください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続および取外しをしないでください。

英国では、法律上、次のことが必要です。

- 電源コードを接続してから、電話線ケーブルを接続してください。
- 電話線ケーブルを抜いてから、電源コードを抜いてください。

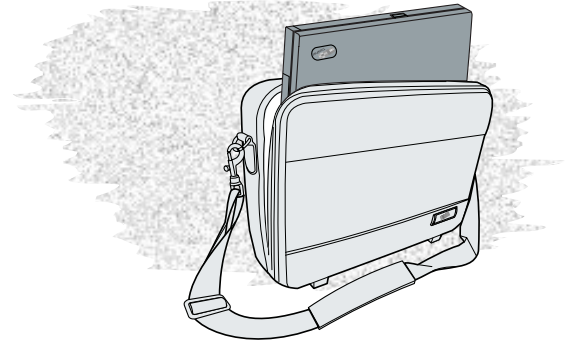


---

## ⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください。)
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 連休などで長期間使わないときは、バッテリー・パックを本体から抜いておいてください。
- 液晶ディスプレイ (LCD) 内の蛍光灯の中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

液晶ディスプレイはガラスで作られており、コンピューターを乱暴に扱ったり落としたりすると壊れることがあります。液晶ディスプレイが壊れて内部の液体が眼に入ったり、手についたときは、すぐに水で 5 分以上洗ってください。何らかの症状が残る場合は、医師の診断を受けてください。





---

安全に正しくお使いいただくために	iv
絵表示について	iv
危険/注意ラベルの表示について	iv
付属品を確認する	1
<b>ThinkPad</b> をセットアップする	3
<b>Windows 98</b> をセットアップする	9
起動ディスクを作成する	17
システム構成を保護するプログラムをインストールする	21
モデムをセットアップする	23
ウィルス検知プログラムをインストールする	31
<b>IBM</b> にお客様名を登録する	35
<b>Windows 98</b> を終了する	41
詳しい情報の入手先	43
問題が起こったら	49
保証とサービス	49
特記事項	51
商標	51

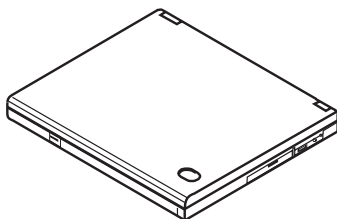


## ThinkPad の世界ようこそ！

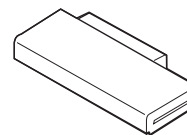
最初に、箱から付属品を取り出します。付属品を一つずつ、下の図と照らし合わせてください。万一、付属品が不足または破損していた場合は、ThinkPad をお買い上げの販売店にご連絡ください。

注：本文中のイラストおよび画面は、実物と多少異なる場合があります。

### □ ThinkPad 本体



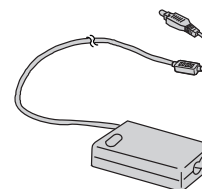
### □ バッテリー・パック



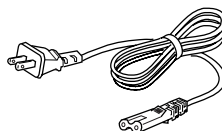
### □ PC カード・モデム・パッケージ



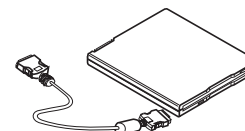
### □ AC アダプター



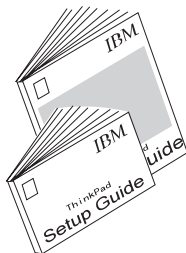
### □ 電源コード



### □ 外付けディスク・ドライブ



- 
- **Product Recovery CD-ROM** パッケージ  
(Recovery CD-ROM Boot Diskette を含む)
  - 導入済みアプリケーションCD
  - **Lotus Super Office 98 CD-ROM** パッケージ
  - 各種部品
    - セキュリティーねじ
    - トラックポイントの予備キャップ
    - その他
  - **ThinkPad**マニュアル類
    - 付属品チェック・リスト
    - セットアップ・ガイド (本書)
    - スタート・ガイド
    - ユーザーズ・リファレンス
    - ステップ・アップ・ガイド
    - クイック・リファレンスおよびサービス情報



- **Windows 98** ファースト ステップ ガイド

このマニュアルには、ライセンス証書(Certificate of Authenticity)が添付されています。ライセンス証書には、プロダクトキー(製品の ID 番号)が書かれていますが、この番号は、Windows 98 を再インストールする際に必要となりますので、大切に保管してください。



- 封筒

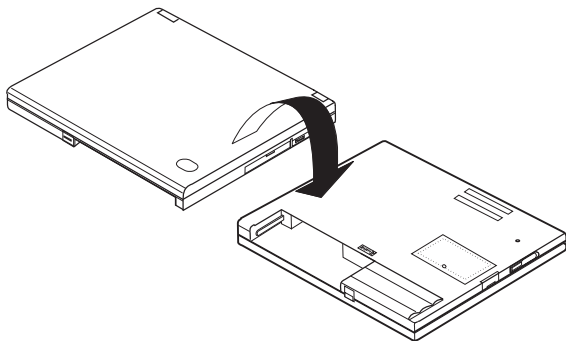
この封筒には次の付属品が入っています。

- **IBM** サービスのご案内の冊子
- その他のパンフレット、ライセンス証書など

# ThinkPad をセットアップする

それでは、ThinkPad を組み立てて始動してみましょう。

## 1 ThinkPad を裏返して、底面を上に出します。



危険

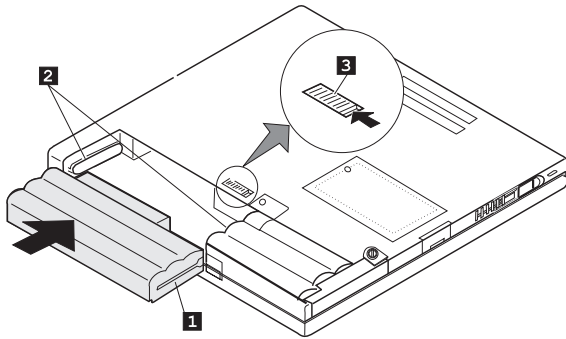
ご使用の **ThinkPad** に付属のバッテリー・パックには、微量の有害物質が含まれています。バッテリー・パックの事故を防止するために、次のことを守ってください。

- バッテリー・パックを火の近くに置かない。
- バッテリー・パックを水や雨などにあてない。
- バッテリー・パックを分解しない。
- バッテリー・パックを落としたりして物理的なショックを与えない。
- 必ず **IBM** 指定のバッテリー・パックを使用する。
- 子供の手に届かないところにバッテリー・パックを保管する。

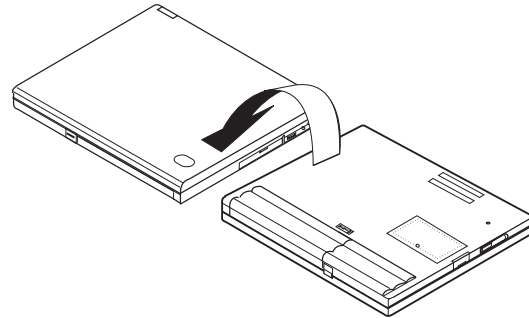
バッテリーの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

## 2 バッテリー・パックを取り付けます。

- a) バッテリー・パック上のガイド **1** と本体のガイド **2** の位置を合わせます。
- b) バッテリー・パックをスライドして本体にしっかりと押し込みます。バッテリー・パックのラッチ **3** が適切な位置で自動的にロックされます。



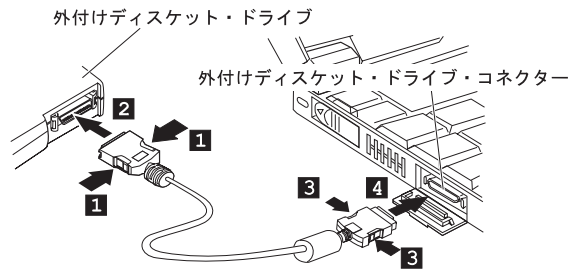
## 3 ThinkPad を裏返して元通りにします。



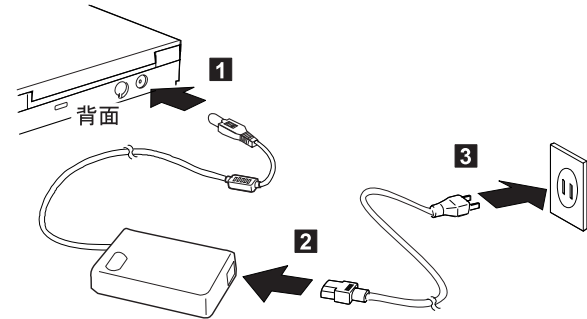


## 4 外付けディスク・ドライブを接続します。

- ThinkPad 左側面にある、外付けディスク・ドライブ・コネクタのカバーを開けます。
- 外付けディスク・ドライブに、コネクタの側面 **1** を押しながら、ケーブルを装置に接続 **2** します。同じように、ThinkPad 左側面にある外付けディスク・ドライブ・コネクタに、コネクタの側面 **3** を押しながら、ケーブルを ThinkPad に接続 **4** します。



## 5 AC アダプターを図の順序で接続します。

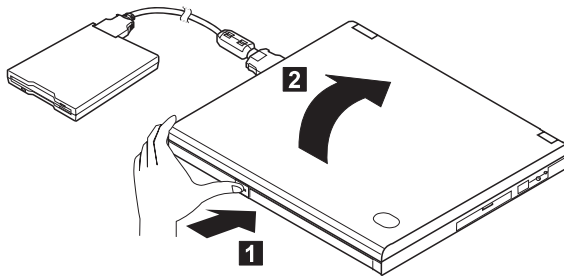


## 6 液晶ディスプレイを開きます。

- a) ThinkPad の液晶ディスプレイ(LCD)のボタン **1** を押して、LCD **2** を開きます。
- b) LCD は、見やすい位置に調節してください。LCD は、135 度までしか開きません。

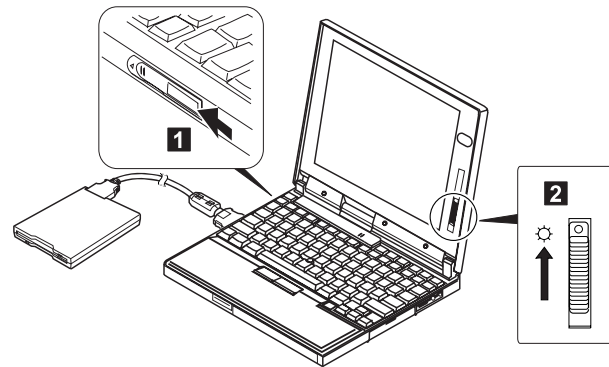
### 重要

LCD を 135 度以上開かないでください。無理に開くと、破損する恐れがあります。



## 7 ThinkPad の電源をオンにします。

- a) 電源スイッチを矢印方向に押してから手を離し **1**、ThinkPad の電源をオンにします。電源スイッチは、押してから手を離すと、自動的に元の位置に戻ります。
- b) 輝度調節つまみで画面の輝度を調節します **2**。



---

ビープ音が一度鳴ってしばらくすると、「ユーザー情報」ウィンドウが表示されます。

- 「ユーザー情報」ウィンドウが表示された場合は、9ページの『Windows 98 をセットアップする』に進んでください。
- 「ユーザー情報」以外の画面が表示された場合は、コンピューター内で何か問題が起きている可能性があります。ユーザーズ・リファレンスを参照してください。



# Windows 98 をセットアップする

ThinkPad 購入後に初めて電源を入れたとき、またはリカバリー CD を使用してリカバリー作業を行ったときは、Windows 98 のセットアップを行う必要があります。セットアップは次の手順で行います。

## 注

Windows 98 のセットアップ中にシステムが停止した場合は、ThinkPad の電源をいったんオフにして再びオンにしてください。

## 1 「ユーザー情報」の入力



「ユーザー情報」ウィンドウでは、あなたの名前と会社名を空欄にキーボードを使って入力していきます。

Windows 98 のセットアップを進めていくと、このように文字を入力したり、画面に表示されているボタンを押す

操作が何度も出てきます。文字の入力はキーボードで、ボタンを押す操作はキーボードに組み込まれているトラックポイントで行います。

(1) 名前を入力します。

— キーボードで文字を入力するには —

ここでは、漢字・ひらがな、カタカナ、アルファベットの入力方法を例をあげて説明します。

• 漢字・ひらがなを入力したい

たとえば「大和 たろう」と入力したいときは、以下のようになります。

1. 名字の「大和」をローマ字読みにして、**Y** **A** **M** **A** **T** **O** のアルファベットの各キーを順に押しします。

▶ 画面に やまと と表示されます。

2. **変換** キーまたは  キー（スペースキー）を目的の漢字 **大和** が表示されるまで（数回）押しします。

3. **Enter** キーを押して漢字を確定します。

▶ 画面に **大和** と入力されました。

4.  キーを押します。

▶ カーソル（|）がひとつ右に移動して、名字と名前の間に空白が 1 文字分入力されます。文字は、いつもこの点滅するカーソル（|）部分に入力されます。

5. 名前の「たろう」をローマ字読みにして、**T** **A** **R** **O** **U** のアルファベットの各キーを順に押します。

▶ 画面に大和 たろう|と表示されます。

6. 漢字に変換せずにそのまま入力したいので、**Enter** キーを押して確定します。

▶ 画面に大和 たろう|が入力されました。

• カタカナを入力したい

たとえば「ヤマト」と入力したいときは、以下のようにします。

1. 「ヤマト」をローマ字読みにして、**Y** **A** **M** **A** **T** **O** のアルファベットの各キーを順に押します。

▶ 画面にやまとと表示されます。

2. キーボードの奥側にある **F7** キーを 1 回押します。

▶ 画面にヤマトと表示されます。

ヒント：ここで、**F8** キーを押すと半角カタカナで ヤマトと表示されます。

3. **Enter** キーを押して確定します。

▶ 画面にヤマト|が入力されました。

• アルファベットを入力したい

たとえば「Yamat o」と入力したいときは、以下のようになります。

1. **Y** **A** **M** **A** **T** **O** のアルファベットの各キーを順に押します。

▶ 画面にやまとと表示されます。

2. キーボードの奥側にある **F9** キーを数回押します。

▶ **F9** キーを押すごとに、画面に

yamat oや

YAMAT Oなどが表示されます。

ヒント：ここで、**F10** キーを押すと半角アルファベットでyamat oなどが表示されます。

3. 好みのアルファベット（ここでは「Yamat o」）が表示されたら、**Enter** キーを押して確定します。

▶ 画面にYamat o|が入力されました。

• 入力を間違えたときは

間違えた文字を入力した場合は、キーボード右奥の **Backspace** キーを押すと、カーソル ( | ) の左側にある文字が 1 文字ずつ消えていきます。

- (2) 次に、必要なら会社名を入力します。

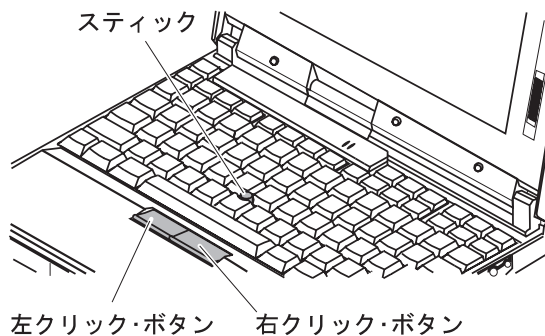
**Tab** キーを押すとカーソル ( | ) が会社名欄に移動するので、そこで会社名を入力します。


- (3) トラックポイントで「次へ」ボタンを選択します。

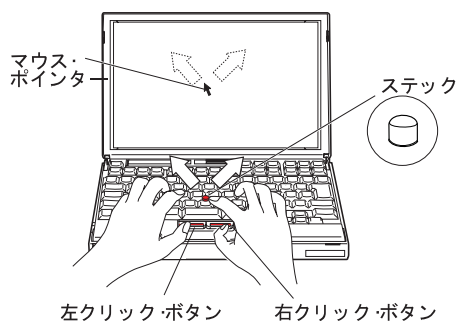
ヒント：間違えて先の画面に進んでしまった場合は、「戻る」ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ることができます。

—トラックポイントで画面のボタンを選択するには—

トラックポイントは、マウスと同じ機能をもっており、スティックと左右のクリックボタンでできています。



1. 人指し指をスティックの上に置いて、ゆっくりと斜め方向に力を加えます。その動きに合わせて画面上の矢印  (マウスポインタと呼びます) が移動します。



- 
2. 画面のマウスポインタの動きを見ながら、「次へ」ボタンの上にマウスポインタを移動させます。



3. 親指で左側のクリックボタンを 1 回押します。

この動作で「次へ」ボタンを選択したことになります。

- 「クリック」とは、左クリックボタンを一度押す動作をいいます。
- 「ダブルクリック」とは、左クリックボタンをすばやく 1 秒以内に 2 回押す動作をいいます。



## 2 「使用許諾契約書」の確認



画面の内容をよく読みます。画面の続きを読むには、

**PageDown** キーを押します。

同意する場合は、「同意する」をクリックしてから、「次へ」をクリックします。

注： 「同意しない」をクリックした場合、セットアップは中止されます。

## 3 「プロダクト キー」の入力



「プロダクト キー」ウィンドウが表示されます。付属の「ファーストステップガイド Microsoft Windows 98」をお手元にご用意ください。

表紙のバーコードの上に「プロダクト キー」に続いて数字やアルファベットが並んでいます。キーボードで画面の5つの空欄に、それらの数字を入力していきます。入力後、「次へ」をクリックします。

ヒント： 数字を間違えて入力した場合は、**Backspace** キーで消して入力し直してください。

ヒント： 「入力された番号は無効です」のメッセージが表示されたら、「再入力」をクリックして元の画面に戻り、入力し直してください。

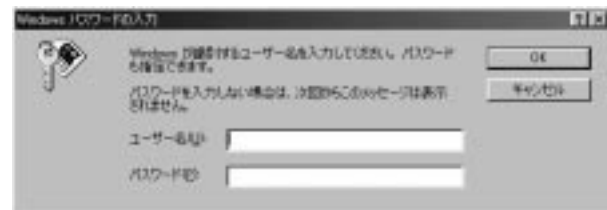
## 4 「ウィザードの開始」の確認



「完了」をクリックします。

しばらくの間、ハードウェアの設定が自動的に行われます。

## 5 「Windows パスワード」の入力



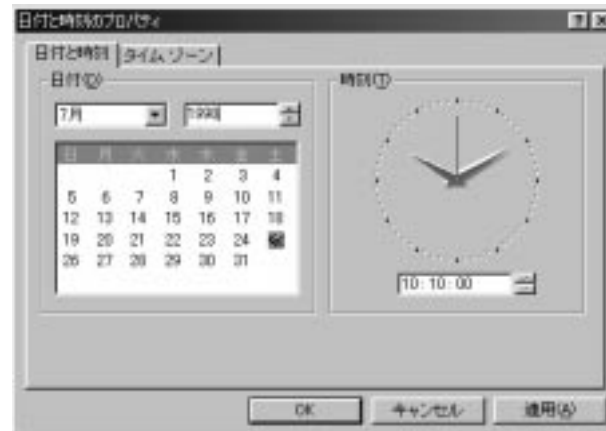
ユーザー名を入力します。ユーザー名は名字など自由に入られます。パスワードも指定できますが、ここではパスワードは指定せず、ユーザー名のみ（たとえば YAMATO など）を入力し、「OK」をクリックします。

## 6 「日付と時刻」の確認



画面左上の「日付と時刻」タブをクリックします。

## 7 「日付と時刻」の設定



表示されている日付と時刻が現在の日時と合っているかどうかを確認します。合っていない場合は設定し直します。

- すべて正しい場合：「閉じる」をクリックします。
- 日付が正しくない場合：月または日の数字をクリックして、正しい日付を選択します。
- 年が正しくない場合： または をクリックして変更します。
- 時刻が正しくない場合：時計の下の時、分、秒の数字をクリックしてから直接数字を入力するか、 または をクリックして正しい時刻に変更します。

変更後、「閉じる」または「OK」をクリックします。

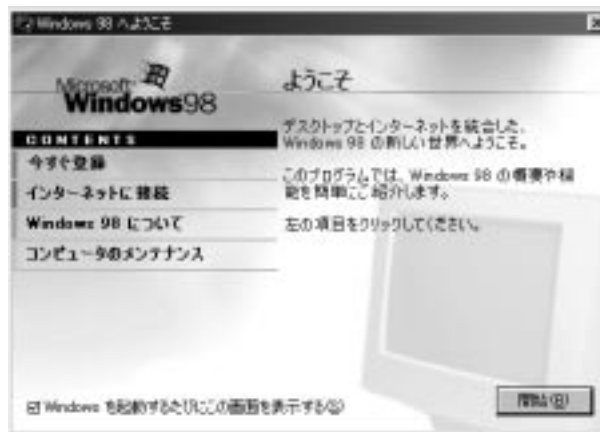
## 8 「プリンタの追加ウィザード」画面



「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウが表示されま  
す。「次へ」をクリックすると使用するプリンタの設定が  
できますが、ここでは行わずに「キャンセル」をクリック  
して次に進みます。

注: プリンタの設定は初心者の方には多少困難です。この  
画面は、Windows 98 のセットアップ終了後いつでも  
再表示できますので、「スタートガイド」の「プ  
リンタの接続」の節を参照しながら、あとでゆっくり  
と行ってください。

## 9 「Windows 98 へようこそ」画面



Windows 98 の基本画面と、その前面に「Windows 98  
へようこそ」と題された「ウィンドウ」が表示されます。  
この基本画面は「Windows 98 デスクトップ」と呼ば  
れ、ここですべてのアプリケーションの操作を行います。

- 初心者の方は、「Windows 98 について」をクリッ  
クすると、Windows 操作の基本を体験・学習するこ  
とができます。
- 「Windows 98 へようこそ」ウィンドウを終了する  
には、ウィンドウ右上の **X** をクリックします。

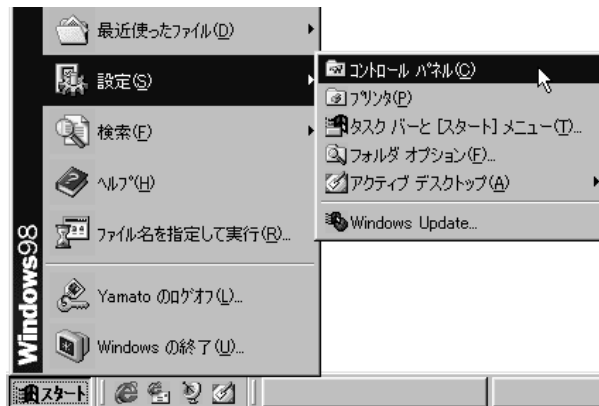
続いて、次ページに進んでお買い上げ時に必要な作業を行いま  
す。もしここで ThinkPad を終了する場合は、41ページの  
『Windows 98 を終了する』に進んでください。以上で  
Windows 98 のセットアップはすべて完了しました。

# 起動ディスクを作成する


ここでは、Windows 98 用の起動ディスクを作成します。起動ディスクは、何らかの障害で Windows 98 が起動しなくなったときに、問題に対処するためのものです。次の手順に従って万一のときのために作成しておきましょう。

**1** 新しい 2HD のディスケット（フロッピーディスク）とディスケットラベルを各 2 枚ご用意ください。ディスケットラベルに「Windows 98 起動ディスク 1」、「Windows 98 起動ディスク 2」と書き、それぞれディスケットに貼ってください。

**2** Windows 98 デスクトップの左下にある「スタート」ボタンをクリックし、表示されたメニューから「設定」にマウスポインタを移動します。右に表示されたメニューから「コントロールパネル」にマウスポインタを移動し、クリックします。



**3** 表示された「コントロールパネル」ウィンドウで、「アプ

リケーションの追加と削除」アイコン (  ) をダブルクリック（左クリックボタンを 2 回すばやく押す）します。

▶ 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

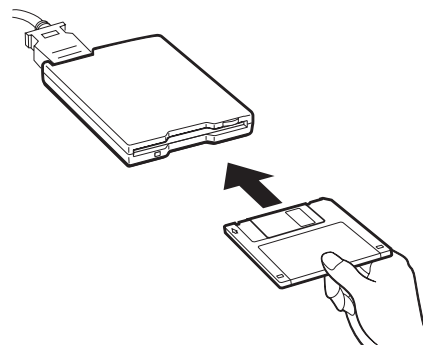


**4** ウィンドウ内上部の「起動ディスク」タブをクリックします。

▶ 次のウィンドウが表示されます。



**5** 「起動ディスク 1」のディスクを ThinkPad の外付けディスク・ドライブにさし込みます。奥まで入れると、カチッと音がします。

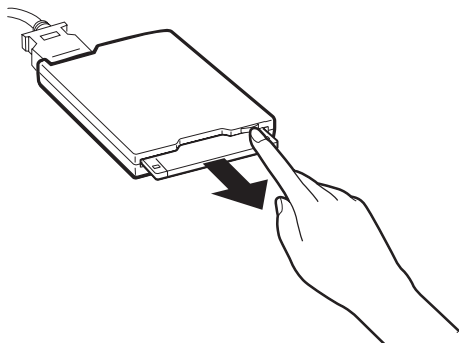


---

**6** ウィンドウ内の「ディスクの作成」をクリックします。

- ▶ ディスクの作成が始まります。画面の指示に従って2枚のディスクを作成してください。

ディスクを取り出すときは、イジェクトボタンを押します。



**7** ディスクの作成が完了したら、「OK」をクリックして終了します。作成したディスクを大切に保管してください。

続いて、次ページに進んで作業を行います。もしここでThinkPadを終了する場合は、41ページの『Windows 98を終了する』に進んでください。






## システム構成を保護するプログラムをインストールする

ThinkPad に新しくアプリケーション・ソフトウェアをインストールしたり、ThinkPad に元から入っているソフトウェアを新しくしたことが原因で、ThinkPad がうまく作動しなくなる、または起動しないなどの問題が起きることがあります。

「ConfigSafe」は、そのようなパソコンのシステム変更を追跡し、問題を解決するためのソフトウェアです。ThinkPad にはインストールプログラムが用意されていますので、次の手順に従ってインストールしましょう。

### 1 Windows 98 のデスクトップから「ThinkPad の工具箱」アイコン ( ) をダブルクリックします。

箱」アイコン (  ) をダブルクリックします。

### 2 表示された「Toolbox」ウィンドウで、「ConfigSafe イ

ンストール」アイコン (  ) をダブルクリックします。

▶ 次のウィンドウが表示されます。



**3** 「OK」をクリックします。数画面表示されますので、内容を読みながら「OK」をクリックしてインストール作業を進めます。（基本的に、画面の設定通りにインストールします。）

**4** 次の画面が表示されたらインストールは完了です。「OK」をクリックしてください。



「ConfigSafe」の詳しい使い方については、付属の説明書をお読みください。

続いて、次ページに進んで作業を行います。もしここで作業を終了する場合は、41ページの『Windows 98 を終了する』に進んでください。

ここでは、PC カード・モデムを ThinkPad に取り付ける手順を説明します。

まず、モデムのパッケージから、PC カード・モデム（以降、モデムカードと呼びます）、ドライバー・ディスクレットやケーブルなどを取り出しましょう。

## 注意

- セットアップを始めるまえに、モデムに付属のマニュアルに記載されている安全上の注意事項をお読みください。
- セットアップ中により詳しい情報が必要になった場合は、モデムに付属のマニュアルをお読みください。

## 重要

このモデムカードは、公衆電話回線（アナログ回線）にのみ接続できます。デジタル回線には接続しないでください。デジタル回線に接続すると、モデムおよびデジタル交換機に損傷を与えることがあります。

## ⚠危険

感電を防止するため、ケーブルを電話回線に接続する作業や電話回線からケーブルを抜く作業は、雷雨時を避けてください。

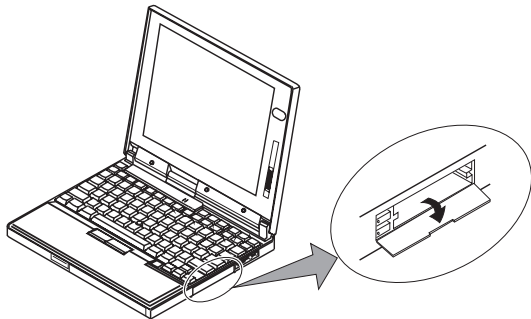
**1** ThinkPad の電源がオフになっている場合は、オンにします。

注： 電源オフの状態でもデムカードを差し込まないようにしてください。

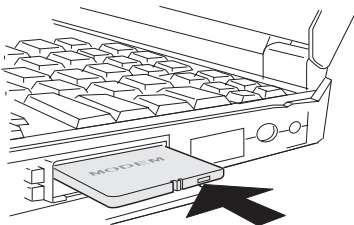
▶ Windows 98 デスクトップが画面に表示されます。

**2** モデムカード付属のドライバー・ディスクレットを外付けディスクレット・ドライブに差し込みます。

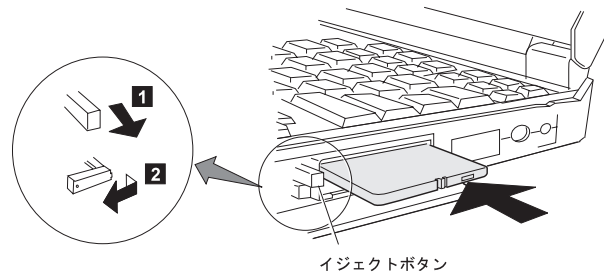
**3** ThinkPad 右側面の PC スロットカバーを開きます。



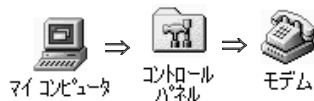
**4** モデムカードのラベル側を上にして、ThinkPad の PC カードスロットに差し込みます。PC カードスロットは上下 2 個ありますが、どちらに差し込んでもかまいません。



**5** 奥までしっかり差し込むとイジェクトボタンが飛び出すので、指で手前に引き出し **1**、左側に倒します。 **2**



- 6 Windows のデスクトップで「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「モデム」の順に、アイコンをダブルクリックします。



- ▶ 「所在地情報」ウィンドウが表示されます。



- 7 今いる場所の市外局番と、あれば外線発信番号を入力します。ダイヤル方法に「トーン」または「パルス」を選択します。

注：電話回線にはトーン回線（プッシュホン回線）とパルス回線（ダイヤル回線）があります。トーン回線の場合は、電話番号をダイヤルすると「ピッ、ポッ、パッ」と音がします。パルス回線の場合は、「カタカタカタ」というような機械音がします。

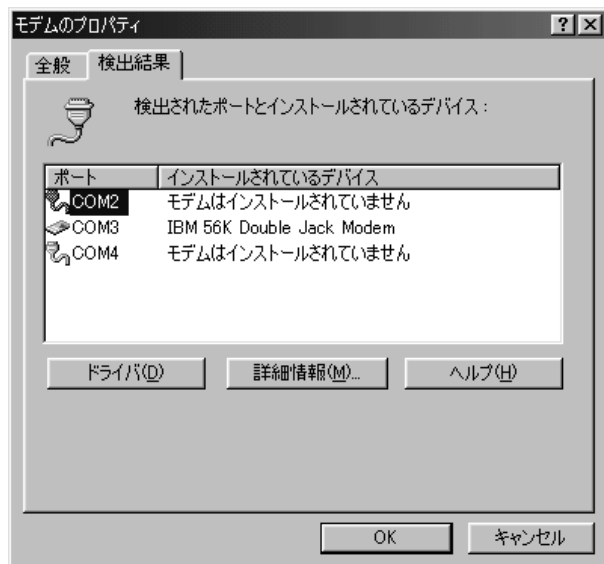
- 8 「閉じる」をクリックして「所在地情報」ウィンドウを終了します。

- ▶ 「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



**9** 設定したモデム名が反転表示していることを確認し、「検出結果」タブをクリックします。

▶ 次のウィンドウが表示されます。



**10** 設定したモデムの COM ポートの部分をクリックし反転表示させてから、「詳細情報」ボタンをクリックします。

▶ 「詳細情報」ウィンドウが表示されます。



**11** 「コマンド」と「応答」の欄に、前の画面のように何か表示されているか確認してください。

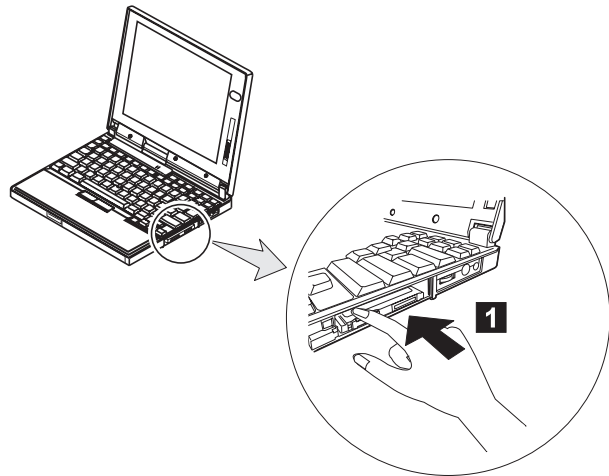
何も表示されてない場合は、セットアップは正常に終了されていません。モデム付属のマニュアルをご覧ください、設定情報を元に戻して、はじめからセットアップをやり直してください。

**12** 「OK」をクリックします。

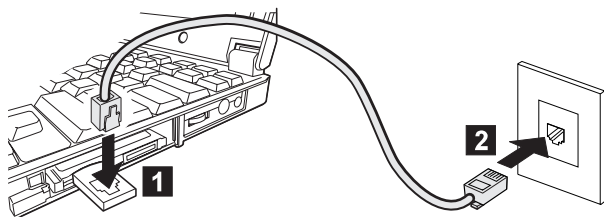
**13** 続けて「モデムのプロパティ」ウィンドウも「OK」をクリックして終了します。

**14** イジェクトボタンを押してディスクを外付けディスク・ドライブから取り出します。

**15** PC カード・モデムの押しボタンを押して、PC カード・モデム上の電話用のモジュラー・ジャック・ソケットを出します。



- 16** 電話ケーブルの一方の端を PC カード・モデムに接続し  
**1**、ケーブルのもう一方の端を電話用モジュラー・ジャックに接続します。




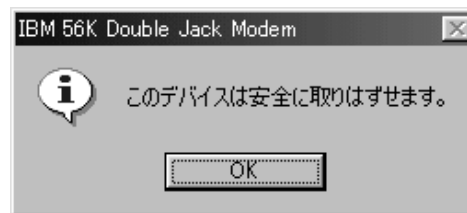
以上で、モデムカードのセットアップは終了しました。

一度セットアップしてしまえば、後はモデムカードを PC カードスロットに入れるだけでモデムカードが使えるようになります。何度もセットアップする必要はありません。

— モデムカードを抜くときは —

モデムカードは、使用しないときも基本的にスロットに差したままにしておきます。抜きたい場合は、抜くまえに、PC カードの使用を中止する操作が必要です。

1. Windows デスクトップのツールバーの右端の「PC カードの状態」アイコン (  ) をクリックします。
  - ▶ 「...Modem Card (モデム) の中止」ボックスが表示されます。
2. 「...Modem Card (モデム) の中止」ボックスを反転表示させてクリックします。
  - ▶ 次のようなウィンドウが表示されます。



3. 「OK」をクリックします。
4. PC カードのイジェクトボタンを起こし、奥へ押し込んで、飛び出したモデムカードを抜きます。



---

続いて、次ページに進んで作業を行います。  
ここでいったん操作を終了したい場合は、41ページの  
『Windows 98 を終了する』に進んでください。




# ウイルス検知プログラムをインストールする

コンピューター・ウイルスとは、コンピューター内のファイルやプログラムに悪影響を及ぼすプログラムのことです。ウイルスの殆どはいたずら半分で作成されたものですが、知らないうちにファイルが消去されたり、コンピューターの情報が書き換えられたりすることがあります。また、ウイルスは、他のプログラムとは異なり、ディスクなどからデータを自分のパソコンにコピーしたりするだけで、自分でも気付かないうちに感染してしまうことがあります。

ThinkPad にはウイルス検知プログラム「Norton AntiVirus」のインストールプログラムが用意されています。次の手順に従ってインストールしましょう。

注: このプログラムを使用するうえでの注意事項については、ThinkPad に付属の「補足情報」を必ずお読みください。

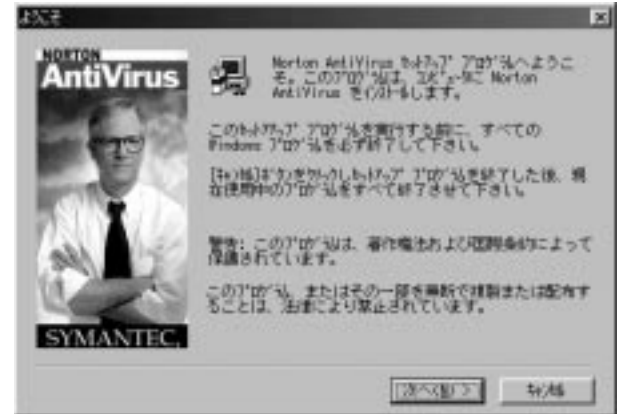
## 1 Windows 98 のデスクトップから「ThinkPad の工具箱

」アイコン (  ) をダブルクリックします。

## 2 表示された「Toolbox」ウィンドウで、「Norton

AntiVirus...」アイコン (  ) をダブルクリックします。

▶ しばらくして、次のウィンドウが表示されます。



## 3 「次へ」をクリックします。

4 しばらくの間、表示される画面の内容を読みながら、「次へ」や「はい」ボタンをクリックして進みます。（基本的に、画面に表示される設定を変更する必要はありません。）

・  
・  
(この間、数枚の画面が表示される)  
・  
・

やがて、次の画面が表示されます。



- インストール後にLiveUpdateを実行(R)
- 救済ディスクを作成(C)
- 再起動後にウイルスをスキャン(S)

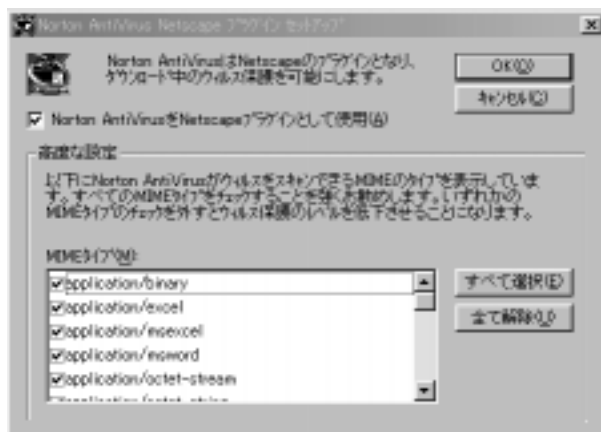
5 ここで、「インストール後に **Live Update** を実行」と「救済ディスクを作成」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。

- 「Live Update」とは、新しいウィルスを発見するために、モデムやインターネット経由で新しいウイルス情報を得る手段です。詳しくは、オンラインマニュアルを参照してください。  
オンラインマニュアルを表示するには、Windows 98 デスクトップの「スタート」「プログラム」「Norton AntiVirus」「Norton AntiVirus マニュアル」「Norton AntiVirus ユーザーズガイド」をクリックしてください。
- 「救済ディスク」とは、ThinkPad がウイルスに感染して動作しなくなった場合に、ThinkPad を修復するためのディスクです。万一の場合に備えて、速やかに作成しておくことをお勧めします。その際、新しいディスクが 3 枚必要となります。インストール完了後に改めて「救済ディスク」を作成するには、Windows 98 デスクトップの「スタート」「プログラム」「Norton AntiVirus」「Rescue Disk」をクリックします。

6 「次へ」をクリックします。

7 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「完了」をクリックします。

- ▶ ThinkPad が再起動され、次のウィンドウが表示されず。

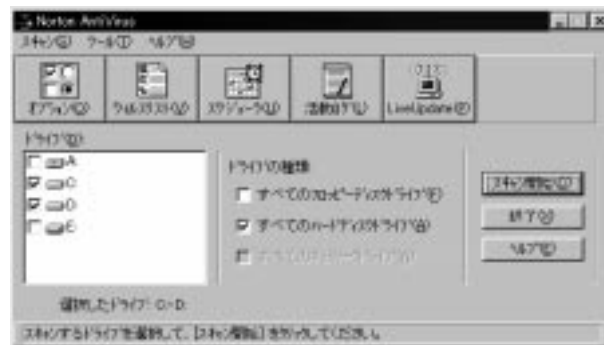


8 内容を読み「OK」をクリックし、確認のウィンドウで再度「OK」をクリックします。

- ▶ ウィルスのチェックが始まり、結果が表示されます。

9 「閉じる」をクリックします。

- ▶ 「Norton AntiVirus」のメインウィンドウが表示されます。



このウィンドウで、今後ウィルスのスキャンなどを行うことができます。

10 「終了」をクリックし、AntiVirus を終了します。

ウィルス検知プログラムのインストールが完了しました。詳しい使い方については、Norton AntiVirus のオンラインマニュアルを参照してください。

続いて、次ページに進んで作業を行います。

ここでいったん作業を終了する場合は、41ページの『Windows 98 を終了する』に進んでください。



# IBM にお客様名を登録する

IBMでは、ThinkPad をお買い上げいただいたお客様にさまざまなサポートやサービスをご提供するためにお客様登録をお願いしています。

ここでは、セットアップしたモデムと電話回線（フリーダイヤル）を介してお客様登録（オンライン登録といいます）をしていただく手順を説明しています。


## 注意

ThinkPad にモデムがセットアップされていないと、オンライン登録はできません。23ページの『モデムをセットアップする』の手順に従ってモデムのセットアップを終了してください。

ヒント：ハガキでお客様登録をすることもできます。製品の保証書に添付されているお客様登録カードをご使用ください。

## 1 Windows のデスクトップにある「ThinkPad の工具箱」



アイコン（）をダブルクリックします。

▶ 「Toolbox」ウィンドウが表示されます。

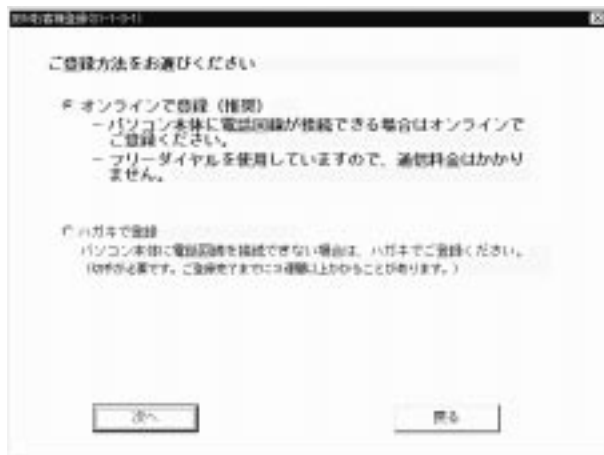
## 2 ウィンドウ内の「IBM お客様登録」アイコン（）をダブルクリックします。

▶ 次の IBM お客様登録ウィンドウが表示されます。



**3** 画面の内容を読み、「登録を行う」ボタンをクリックします。

▶ 次のウィンドウが表示されます。



**4** 「オンラインで登録」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

▶ 「電話回線の接続確認」ウィンドウが表示されます。



ヒント：ここで、「後で行う」をクリックすると登録が中断されます。その場合、Windows デスクトップに「IBM お客様登録」アイコンができますので、それをダブルクリックすると、中断したところから再開することができます。

**5** 「次へ」をクリックし、表示されたウィンドウで「今すぐお客様登録を行う」をクリックして選択し、「次へ」をクリックします。

**6** 数画面表示されます。画面の内容を読み、登録作業を進めます。



7 次の画面が表示されたら、必要な情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

注： 各項目に移るときは、キーボードの **[Tab]** キーを押します。英数字は全て半角で入力してください（番地は除く）。

（以降の画面は一例です。）

8 続けて必要な情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

英数字は全て半角で入力してください。機種名および機械番号はハイフンなしで入力してください。

- 9** 情報が正しく入力されていることを確認したら、「次へ」ボタンをクリックします。

ヒント：内容を訂正したい場合は「戻る」ボタンをクリックし、前の画面に戻って訂正します。

下の入力内容に基きデータを送信します。内容を修正したい場合には「戻る」をクリックして該当箇所を修正してください。

【姓(漢字)】	大村	【名(漢字)】	太郎
【姓(カナ)】	ヤマト	【名(カナ)】	タロウ
【姓(ローマ字)】	YAMATO	【名(ローマ字)】	TARO
【性別】	男性	【生年月日】	1985 年 1 月 1 日
【郵便番号】	242-0502	【郵便町域】	神奈川県
【住所】	大和町下鶴岡		
【番地】	1 6 2 3 - 1 1		
【建物・部屋名】			
【電話番号】	0402-11-1111	【FAX番号】	0402-13-1111

次へ    戻る    法人名確認    後で行う

- 10** 情報が正しく入力されていることを確認したら、「送信」ボタンをクリックします。

【電子メール】

【情報送信】  はい

【購入年月日】 1989 年 7 月 1 日

【購入店名】 IBM    【購入店所在地】 大和町

【システム設置】

【機種名】 20153AJ    【機種番号】 9112345

【ディスプレイ】

【機種名】    【機種番号】

【お客様番号】

お使いの回線をお選びください

ケーブル     パブルス

外線接続で0発信を使う

社内などで全線へ接続する際、0発信も必要とする場合のみチェックしてください

送信    戻る    1台以上の確認    後で行う

IBM のサーバーに接続してデータを送信し、登録します。フリーダイヤルで接続しているため電話料金はかかりません。

注：内線電話に接続する場合、「外線接続に 0 発信を使う」にチェックマークをつけていても「送信」ボタンを押すと「電話回線が接続されているか確認してください」というメッセージが表示されることがあります。この場合、「後で行う」をクリックして登録を一旦終了し、以下の設定を行ってください。

1. Windows デスクトップで「スタート」「設定」「コントロールパネル」の順にクリックします。

- 表示されたウィンドウ内の「モデム」アイコンをダブルクリックし、「プロパティ」ボタン（「ダイヤルのプロパティ」ではありません）をクリックします。
- 「接続」タブをクリックし、「トーンを待ってからダイヤルする」をクリックしてチェックマークを外します。
- 「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。
- もう一度、Windows デスクトップの「IBM お客様登録」アイコンをダブルクリックして、「再開」をクリックします。

もし、上記の設定を行っても送信に失敗した場合は、外線に直接接続している電話回線につなぐか、またはハガキでご登録ください。

## 11 登録が完了し、「登録完了メッセージ表示画面」が表示されたら「終了」ボタンをクリックします。



以上で、ThinkPad 購入後に必要な作業はすべて終了しました。  
41ページの『Windows 98 を終了する』に進んでください。



# Windows 98 を終了する

Windows 98 のセットアップが完了し、Windows 98 を終了したい場合は、次の手順に従ってください。

- 1 画面左下隅の「スタート」をクリックします。次のメニューが表示されます。



- 2 「**Windows の終了**」をクリックします。確認のメッセージが表示されます。「電源を切れる状態にする」をクリックします。

- 3 ThinkPad を終了したい場合は、「**OK**」をクリックします。ThinkPad の電源が自動的にオフになります。

## 注意

アプリケーション・ソフトウェアを終了して、ThinkPad も終了したい場合は、最初にアプリケーション・ソフトウェアを終了してから、この手順に従ってWindows 98を終了してください。

ご使用の ThinkPad のファイルの損傷を避けるために、ThinkPad の使用を終了する際は必ず、Windows 98 を終了してください。



ThinkPad と Windows 98 のセットアップを完了すると、ThinkPad を使用することができます。

ThinkPad についてより詳しく知りたい場合は、ここに示す同梱のマニュアルを参照してください。

スタート・ガイド では、次の情報が得られます。

- パソコンってなんだろう?
- ThinkPad ってどう使うの?
- 通信機能を使ってみよう
- 困ったときは

ユーザーズ・リファレンス では、次の情報が得られます。

- ThinkPad 380Z のハードウェア機能について
- ThinkPad 機能設定プログラムおよび Easy-Setup の使用について
- オプションの取り付けと ThinkPad の操作について
- システム保護機能の使用について
- ThinkPad の問題の判別について
- サービス体制について
- 製品仕様について

ステップ・アップ・ガイド では、次の情報が得られます。

- 海外での ThinkPad の使用について
- バッテリー電源の使用について
- ThinkPad での PC カードの使用について
- ThinkPad サポート・ソフトウェアのインストールについて
- システム管理機能の使用について

---

**重要**

ThinkPad をご使用中に、初期インストール済みのソフトウェアを誤って削除したり破損した場合、再インストールを行うには次の準備が必要です。

- Windows 98 起動ディスク (2 枚)
- Product Recovery CD-ROM パッケージ (Recovery CD-ROM Boot Diskette を含む)
- 導入済みアプリケーション CD

詳細については、*ステップ・アップ・ガイド* を参照してください。

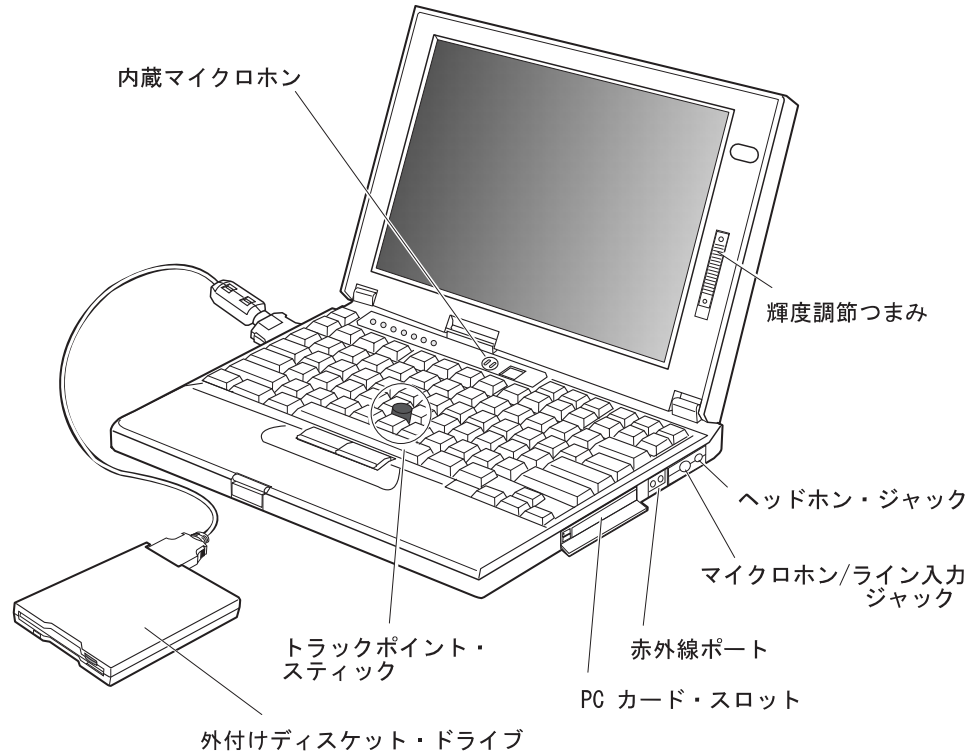
注: デバイス・ドライバーに更新があった場合は、最新版情報を IBM のインターネット・ホームページで入手できます。URL は次のとおりです。

**<http://www.ibm.co.jp/pc/home/download.html>**

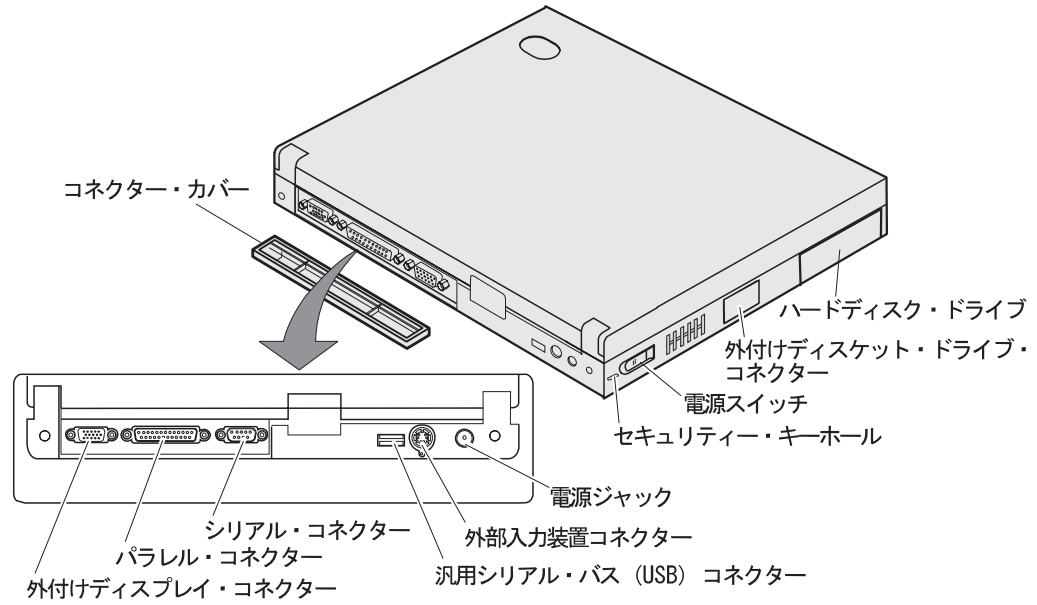


ThinkPad の各部の名称は、下図のとおりです。

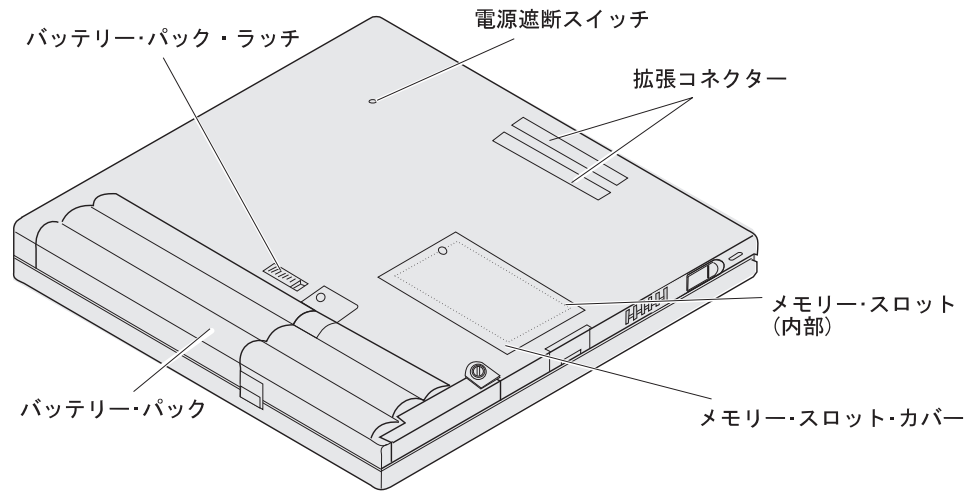
### 正面図



## 背面図



## 底面 (バッテリー・パック取り付け後)





ThinkPad が正しく作動しないなどの問題が発生したときは、ユーザーズ・リファレンスの『問題が起こったら・・・』の章を参照して対処してください。

それでも問題が解決されない場合は、付属のサービスのご案内という小冊子を参照してください。

### 保証とサービス

- ThinkPad システム装置本体の保証とサービスは、箱に添付されている IBM の保証書に従って IBM が行います。この保証書に、保証期間、販売店名などが記入されていることをご確認ください。
- 「PC ハードウェア国際保証」などの海外でのサービスは、ThinkPadシステム装置本体のみに適用されます。



本書において、日本では発表されていない IBM 製品、(機械およびプログラム)、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM および他社は、本書で説明する主題に関する特許権 (特許出願を含む) 商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032  
東京都港区六本木 3 丁目 2-31  
AP 事業所  
IBM World Trade Asia Corporation  
Intellectual Property Law & Licensing

### 商標

本書において使用されている次の用語は、米国およびその他の国における IBM の商標です。

IBM  
ThinkPad  
トラックポイント III

Microsoft、Windows、および Windows 98 は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。







# IBM

部品番号: 27L2632

Printed in Japan



27L2632